

チーフ・ストラテジスト
建部 和礼



2025年度第3四半期決算サマリー

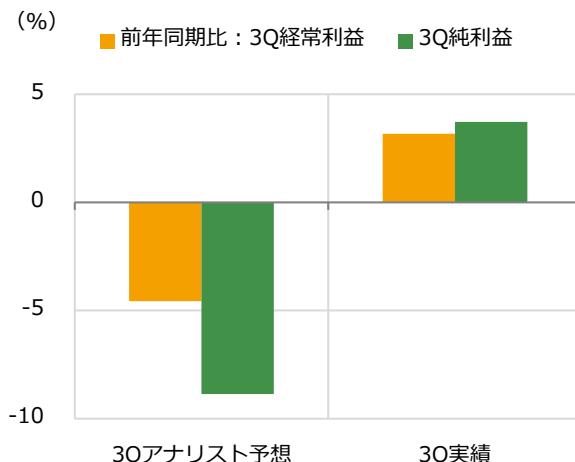
堅調な業績モメンタムが強気相場を下支え

コンセンサス減益予想に対して、3Q実績は増益で着地

1月下旬から2月中旬にかけて、3月決算企業の2025年度第3四半期（10-12月期、以下3Q）決算発表が行われました。TOPIX500を構成する3月決算企業のうち、アナリスト予想を5%以上上回った企業の割合は54%となり、5%以上下回った企業の24%を大きく上回りました。ポジティブサプライズの比率は、好決算だった1Q決算（48%）・2Q決算（50%）よりも高く、アナリストが業績予想の上方修正を続けハードルが高まる中でも、それをしっかりと超える結果となりました。コンセンサスでは、関税影響などによりTOPIXの3Q経常利益・純利益は前年同期比▲4.6%・▲8.9%の減益予想でしたが、実績はアナリスト予想を大きく上振れ、+3.2%・+3.7%の増益となりました。来年度業績への期待が一段と高まります。

セクター別に見ると、前年同期比でのプラス寄与が目立ったのは金融、内需、AI関連などでした。金利上昇や良好なマーケット環境、政策保有株の売却などにより、銀行や保険、証券などは増益額が大きく、コンセンサス対比でも大きな上振れとなりました。インフレ定着による堅調な名目GDP成長率を背景に、建設や不動産などの決算も強く、また生成AIやデータセンター需要の拡大によりAI関連も良好な業績となりました。医薬品や、前年同期の赤字から回復したソフトバンクグループもプラス寄与となりました。前年同期比でのマイナス寄与が大きかったのは、関税影響を強く受けた輸送用機器のほか、海運や鉄鋼などでした。輸送用機器は減益額が最も大きいセクターであったものの、トヨタの強い決算などもあり、コンセンサス対比で最も上振れ額が大きいセクターでもありました。

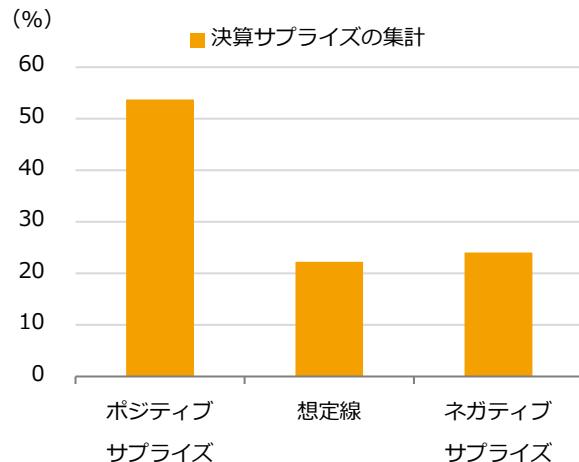
コンセンサス減益予想に対して、3Q実績は増益で着地



※TOPIXを構成する3月決算企業、3Qアナリスト予想はコンセンサス

（出所）ファクトセットより大和アセット作成

3Q決算ではポジティブサプライズが優勢



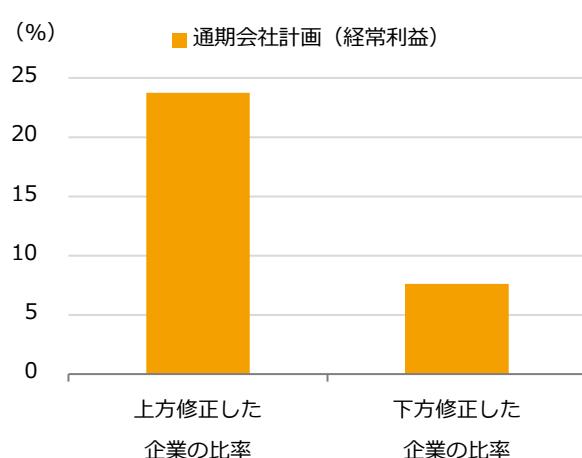
※経常利益の実績がアナリスト予想と5%以上乖離した場合にサプライズとして集計、TOPIX500を構成する3月決算企業

（出所）ファクトセットより大和アセット作成

通期の会社計画（経常利益）は、上方修正した企業が全体の24%に対し、下方修正は8%にとどまりました。同会社計画は、全体で3.4%引き上げられました。TOPIXの収益リビジョンインデックスはプラス圏での推移が続いているが、強い3Q決算を受け、アナリスト予想の上方修正が続くと見込まれます。

為替市場ではボラティリティの高い動きが続く中、1月下旬以降、対米ドルで円高が進んでいますが、企業の想定レートは140円台後半程度であり、現水準からはなおバッファがあります。アナリスト予想の前提レートは企業の想定レートよりも円安水準にあると思われますが、足元の堅調なマクロ環境を踏まえると、非常に急激な円高進行でなければ、業績悪化懸念が大きく高まる可能性は低いと考えています。

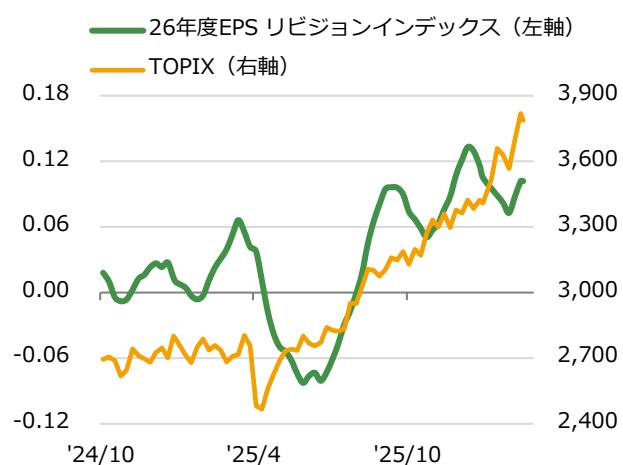
通期会社計画は上方修正が優位



※TOPIX500を構成する3月決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

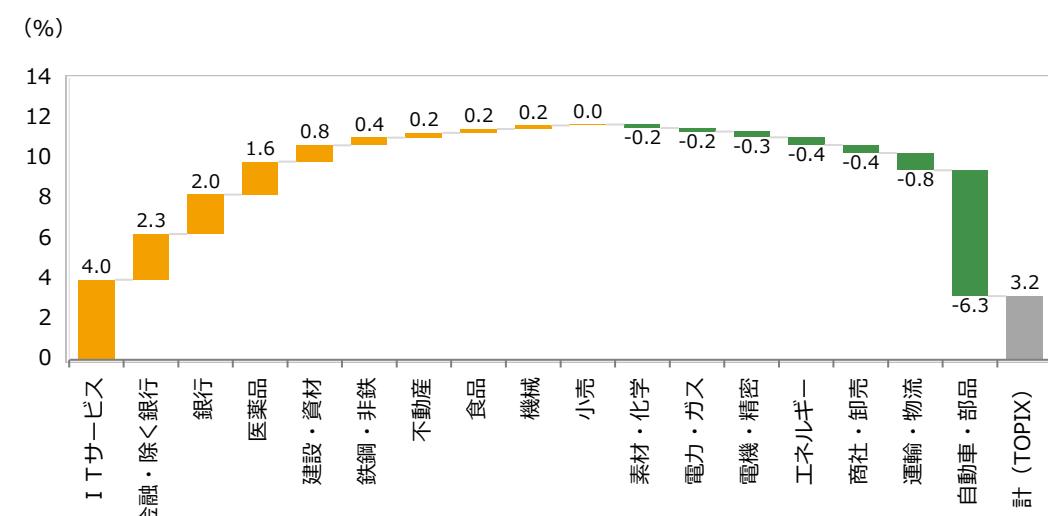
強い3Q決算を受け、アナリスト予想の上方修正が続くだろう



※TOPIXの収益リビジョンインデックス：EPSのコンセンサス予想をベースに「(上方修正件数 - 下方修正件数) ÷ 総予想件数」で計算、直近値は2月16日

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

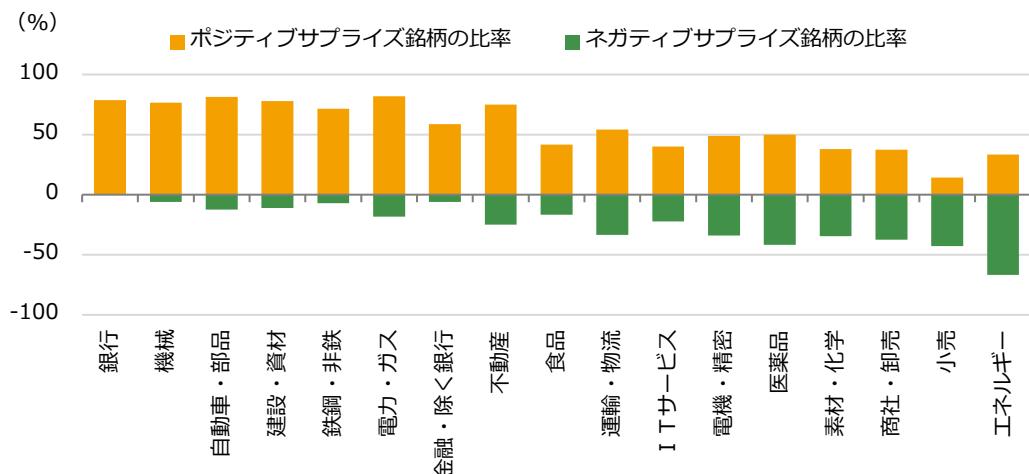
3Q経常利益の前年同期比・セクター別寄与度



※TOPIXを構成する3月決算企業

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

3Q決算におけるセクター別のサプライズ



※ネガティブサプライズ銘柄の比率はマイナスで表示している、TOPIX500を構成する3月決算企業、
経常利益の実績がアナリスト予想と5%以上乖離した場合にサプライズとして集計

(出所) ファクトセットより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指標・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

最新のレポート掲載ページはこちら

<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/countries/report/index.html>

URL <https://www.daiwa-am.co.jp/> お問い合わせ 0120-106212 (受付時間 9:00~17:00)

Daiwa Asset Management